

平成25年度鳴門市行政評価 第2回外部評価委員会

開催日時 平成25年7月18日(木) 午前10時～午前11時
開催場所 市役所共済会館3階大会議室
出席者 計11名
外部評価委員【石田委員、木村委員、玉有委員、福島委員、八木委員】
鳴門市6名【事務局6名】

次 第

- 1 開会
- 2 議事
 - ①外部評価対象事業の選定について
 - ②市民参加外部評価委員会の開催について
 - ③その他
- 3 閉会

委員会概要

- 1 議事①について、事務局が資料1を説明し、審議を行った。
- 2 議事②について、事務局が資料2を説明し、審議を行った。

配布資料

- 資料1 平成25年度外部評価対象事業の選定状況
資料2 鳴門市行政評価外部評価委員会 大まかな流れ

【議事】

委員長

議事①外部評価対象事業の選定について、事務局からの説明を依頼する。

事務局

◆◆資料1に沿って説明◆◆

委員長

今の事務局からの説明について、何か意見はあるか。

各委員からは、市民からの得票が3票以上になった14事業の中から、それぞれ6事業を選んでいただいたわけであるが、資料1の表の真ん中に破線(鎖線)があるが、その線から上の6事業が6名の委員の過半数である、3票以上入った事業ということになる。

所管の部別でいうと、企画総務部が2個、経済建設部が2個、健康福祉部と市民環境部が1個ずつとなっている。

ということで、市民・各委員からの投票の結果としてこの6事業を外部評価の対象とすることで進めてよいか。

委員長

それでは、この6事業を、外部評価したいと思う。

3回目の外部評価委員会の開催日はいつか。

事務局

8月21日(水)

委員長

8月21日について、前回配布された事務事業評価シートをみて、あらまし等を聞いたが、外部評価をするにあたって、こんなデータがあった方がよいと思うものがあれば、急に思いつかないとは思いますが、当日までに欲しいというものがあれば、今後、事務局の方でそれぞれ揃えていくと思うので、気付いた点があれば注文して欲しい。

例えば、1番の「職員人財育成研修事業」というのは、人事課の所管で、職員研修事業についての評価だが、評価シートの中でわかるのは、活動指標では派遣研修等への派遣職員数や庁内研修の受講者数、成果指標としてはアンケートの中での「有意義」「まあまあ有意義」等のアンケート結果での比率がデータとして出ている。

評価シートの行政評価の今後の方向性としては、内部の視点による評価では、要改善となっており、改善の必要性を認めている。今後の改革案で、前年度の実績を参考とするとともに他団体の動向等を把握し、事業の改善に努めるとあるがどのようにするのか。

事務局

他市の行っている研修内容等を把握して、研修概要作成等に反映させるということである。

委員長

何か他に要望はないか。

確か、職員の育成指針を作成しなければならないようになってきていると思う。それは、鳴門市として望ましい職員の育成の方法等を表したものであると思うので用意していただきたい。

それから、研修計画を作っていると思う。キャリア毎だとか、係長や課長になったら行うとか、分野別に政策課題研修とか、それぞれ計画として作っていると思う。それも用意していただきたい。そうすると、鳴門市がどんな職員育成を目指してどんな研修しているのかがわかると思う。

それから、2つ目の「中心市街地活性化推進事業」についてだが、これについては関心度が高いと思うが、何か事前に要望や欲しいデータなどはないか。

そもそも、鳴門市の中心市街地がどこなのかよくわからない。

事務局

◆◆鳴門市の中心市街地地図を配布◆◆

委員長

これは何の資料か。何の計画をもって決めたのか。

事務局

鳴門市中心市街地活性化基本計画を平成12年に策定しており、これが基になっている。

委員長

南の端は鳴門市役所か。

事務局

そのとおり。

委員長

西の方は黒崎の市営球場で北側は、うずしお公園。

黒崎街道のロードサイドが西、東側は撫養川の線、一部、文明橋や城見橋がちょっと突き出している所が若干ある。これを中心市街地と計画では捉えているということか。

事務局

計画で策定されているのはこの地域である。

委員長

中心市街地というには、広いなという感じはあるが。

八木委員

どうなのか。

委員長

この辺りで、100円商店街を行ったのはどの辺りか。文明橋から左側、鳴門駅からのJR線の西側か。この辺りが中心市街地の中心という感じか。

事務局

点線がある所の横の道、この線路から左が大道銀天街である。ここで100円商店街を開催した。

委員長

この件に関して、要望はないか。

福島委員

この中心市街地の区域設定については、たぶん都市計画マスタープランか何かの時に設定されて、ちょっと広いなという印象もあるが、その中でも、100円商店街以外で、現状でどうなっているのか、どこのあたりがどんなふうに困っているのか、また市街地を活性化しようと思っているNPOや地域の方の活動を把握しているのであれば、連携というのも考えられると思うので、そのあたりも説明してもらえたらと思う。

また、空店舗がいくらあるなどの情報発信をしているとのことであったが、どんな情報発信をしているのかとか、空店舗はたぶん、どんどん増えていると思うので、変わっていると思うが、現状でどのような感じか。

委員長

現状に関するデータについて。空店舗の状況とか、通行者数などか。

事務局

把握していない可能性はある。

委員長

これまで、中心市街地活性化にどのように取り組んできたのか、そんなに昔までは必要ないが、近年どんな取り組みをしてきたのかを示して欲しい。

石田委員

平成24年度の実施状況に地域雇用創造協議会とあるが、これは厚生労働省の補助事業が終わって、その後、この補助事業でやっていたクリスマスマーケットを100万円渡して商工会議所にやってもらう事業ということか。

事務局

緊急雇用創出事業でクリスマスマーケット及び2回100円商店街を開催。

委員長

評価対象事業そのもので見ると、活性化という全体像で見ると、ごく部分的なものになるのか。

石田委員

今年度は地域雇用創造協議会の事業を受けているというわけではないのか。

事務局

受けてはいない。原資が変わったというか、両方とも厚生労働省のお金であるが今年はいわゆる緊急雇用創出事業を受けての事業となる。

委員長

これは市の予算に計上している100万円ということか。

事務局

そのとおり、緊急雇用創出事業にかかる場合は市の予算に計上している。協議会の分は市の予算として計上されていない。

委員長

3番目の「公共交通対策事業」であるが。

路線バス事業が廃止になって、その後、将来的にどうしていくかということか。昨年度末で市営バスは廃止されているのか。

事務局

その通り。

委員長

だから、どうするかではなくて、現実に動いているのか。

事務局

そのとおり。民間のバス会社が走っている。

委員長

結局、路線を維持するための補助金ということになるのか。補助金分が、今後多額に必要となるわけか。昔だったら、過疎バス路線とか路線維持補助金とか、そういうことでやっていた自治体もあるが、鳴門市も自前のバスが無くなったら、こういう形になっていくということか。

木村委員

前回の資料の中で、別紙1「平成25年度市民が選んだ外部評価対象事業」のなかで、よくわからないのが、「公共交通対策事業」の中で市民が書いているところに、市バスに代わって、徳島バスが走るようになって車両・ドライバー共に質の向上が図られたように思うが、無料はどうかと思うとあるが、勘違いか。無料というのは何が無料なのか。

事務局

運賃が無料の方もいる。高齢者や障がい者の方が無料となっている。

木村委員

わかった。

委員長

今後の方向性の欄には、要改善となっている。

市営バスが廃止された後の、路線の状況等の概略を資料としていただけるか。また、市内を走っている路線の状況等についてもいただけるか。それと、運行の時間表、もし、把握しているのなら、乗客数の状況みたいな、現状を表すもの。今、とりあえず、民間委託でカバーしているが、長期的にはどのようなかたちがよいのかを検討するというようになるのか。

事務局

そのようなかたちなるかと思う。

委員長

平成25年度は、130,290千円の補助金になる予定。今後、段々増えていくかどうか問題になると思う。

公共交通対策事業については、これでよいか。

それでは、4つ目の「がん検診事業」について、何かあるか。

この事業の課題というのは、各がん検診受診率の平均値が他市に比べて低いという現状があるということだったと思う。担当の評価は、要改善になっているが、がん検診の受診率が低迷している状態にある。それに対して、啓発活動や市民の受けやすい体制づくりをどう行政が行っていくのか、そういう観点である。

この10%というのは、いわゆる、市が行うがん検診の受診率ということである。だから、検診の主体が市の検診ということなので、例えば、市民であっても、健康保険を基にそれぞれ職場等でしていると思う。そういうものを含めて、補足はできているのか。

事務局

会社等で受診できる方については、補足できない。

委員長

つまり、がん検診対象の年齢がどれくらいなのか知らないが、対象市民が何人いるとして、それに対して、市の検診で10%、その他の社会保険・健康保険で何%、そういうのは出てこないのか。

事務局

対象者は40歳以上の男女で、これは国勢調査をもとにあがってきたもので、そこから職場での検診機会のあるものを除いたものが対象者となっている。

委員長

鳴門市民全体の受診率が高いか低いかは、わからないということか。

事務局

会社勤務の人は会社で受診しているだろうというぐらいにしか分からなく、鳴門市が実施している検診の率のみである。

委員長

それなりの分母で、他市と比較ができるものがあると。

事務局

ある。

委員長

それでは、県内の他の自治体と比較データがあるのであれば、用意していただきたい。

10%というのは、著しく低いのか。

事務局

がん検診の種類として、胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮頸がんという検診があり、受診率を単純平均して出している。県内に市町村は24あるが、検診の種類によっては一番低いものもある。

委員長

それでは、もちろん、細かいがん毎の検診率があるのであれば出して欲しい。
鳴門市民の中でどの検診の受診率が一番高いのかわからない。
ちなみに、鳴門市も女子の子宮頸がんのワクチン接種を始めたが副作用については。

事務局

対象者に文書を配布するなど推奨していたが、厚生労働省より積極的に推奨するのは控えていただきたいとの通知があったので、状況を見ながら各自で判断をお願いしている。

委員長

がん検診についてはよいか。
5つ目の「農業担い手育成対策事業（新規就農者養成塾）」について、鳴門市の主要産業のひとつである農業について、何か判断材料になるようなものはないか。
成果指標は、就農希望者相談・指導件数である。ストレートな成果指標だったら、新規就農者が何人いたかということになるが、相談がいくらあったか、指導をいくらしたかは、中間的な指標である。新規就農者の推移のようなデータはあると思うが。
事業費は、31,500千円と結構な額になっている。

事務局

これは、農林水産省の方から青年就農者給付金、新たに農業を始める方に、最大で5年間150万円交付するもの。

委員長

交付金か。就農がなければ交付されないのか。

事務局

分りにくいですが、給付金以外はゼロ予算となっている。職員が例えば、平成24年度の事業実施内容では、技術指導だとか斡旋だとかパートナー探しなどを行っているとなっているが、それと別に、農林水産省の方から、新しく就農しようとしている方に対して、国の制度として給付金をくれる制度と併せたものである。元々この事業は平成21年度から行っており、農林水産省の給付金は平成24年度から始まっている。

委員長

後継者は新規就農者にあたらぬのか。あたると思うが。

事務局

親族からの継承も給付金の対象にはなっている場合もある。

委員長

事業全体の背景としては、鳴門市は農業が盛んということになっているが、実際、それに携わっている、就農している人はどうなっているのか。高齢化しているだとか、後継者がいなくて困っている状況なのか。そのあたりが分かれば、新規就農助成についての緊急で必要だというのがわかる感じがする。他に何か、これに関してあるか。

石田委員

評価シート裏面の課題のところ、相当の業務量・相当な事務量に対応とあるが、この事業の課題は、業務量とか事務量なのか。このあたり具体的に説明をいただけたらと思う。どういうことか。

事務局

ただ、やっていることがあまりにも多いので、既存の人数でマネジメントしていく方法をこ

れから考えていく必要がある。今、担当の人数はたぶんもう増えることはなく一緒なので、その中で工夫して、この事務量をこなしていく仕組みを検討するということである。

石田委員

事業名は後継者育成の話、農業の話だが、これを見ると、おそらく課題はそこではなくて、支える内部的な所が、この事業の課題だというように見受けられたので、そういう状況であることを市民参加の外部評価委員会でもわかるように説明いただきたい。

委員長

それでは、6つ目の「自治振興会連携促進事業」について。

これは、地域づくり事業活性化補助金である。

今後の方向性は、現状維持となっている。

対象になっている地区の自治振興会の現状がわかるような資料を用意して欲しい。例えば、市内をどのようにわけているとか、地区の自治振興会ってどのように構成されているのかとか。それと、活性化補助金がそれぞれの自治振興会に実際にどんなものに、どんな人に充てられているのかなどの実績。前回話のあった、市OBの嘱託職員はいつから配置したのか。

事務局

平成24年度からである。

委員長

平成24年度からということは、実績はもう出ている。ただ、人の活動なので、何をどう実績であげているのか、分からないが。そのような、報告はあるのか。どんな活動をしたのか。

この成果指標は、鳴門のまつりの参加人数とあるが、鳴門のまつりとは何か。これは、実際に鳴門のまつりというのをやっているということか。

事務局

連合会が主催で行っている。

委員長

何か、この自治振興会連携促進事業について、事前にデータとして欲しいものはないか。

それでは、今、リクエストのあった資料等について、事前に準備をお願いします。

石田委員

全体的に、評価シートの裏面の理由等所見欄とか課題、今後の改革案の所が空欄のものには、特になければ「なし」と書いていただくとありがたいと思う。記入漏れなのか、特に記述すべき内容が無いのであれば、「なし」と一言書いておいた方が、わかりやすいと思った。

委員長

それでは、全体通してのご意見・ご質問等はないか。

2つ目の議事②市民参加外部評価委員会の開催について、事務局から説明をお願いします。

事務局

◆◆資料2に沿って説明◆◆

委員長

ただいまの、21日・27日に行われる委員会の大まかな流れについて、何か意見・質問はないか。午後いっぱい、3事業ずつということである。

それでは、こういった運びで、外部評価委員会を進めることにしたいと思う。

今日の主な議題はこの2つであった、何か全体を通じましての意見・質問等について何か。

それでは、事務局の方から何か連絡があればお願いします。

事務局

◆◆第3回の外部評価委員会の開催について事務連絡◆◆

委員長

今回は、8月21日水曜日、場所はうずしお会館、去年まで地場産業センターといていた場所である。

それでは他、よろしいか。

以上をもって、第2回外部評価委員会を閉じたいと思う。